

年間授業計画

大泉桜高等学校 令和7年度（2学年用） 教 保健体育科 科目 保健

教 科： 保健体育科 科 目： 保健 単位数： 1 単位

対象学年組：第 2 学年 1 組～ 5 組

使用教科書：（ 現代高等保健体育 大修館書店 ）

教科 保健体育科 の目標：

【知 識 及 び 技 能】 個人及び社会生活における健康・安全について理解を深めるとともに、技能を身につけるようにする。

【思考力、判断力、表現力等】 健康について、自他や社会の課題を発見し、合理的、計画的な解決に向けて思考し判断するとともに、目的や状況に応じて他者に伝えることができる。

【学びに向かう力、人間性等】 生涯を通じて自他の健康の保持増進やそれぞれを支える環境づくりを目指し、明るく豊かで活力ある生活を営む態度を養うことができる。

科目 保健 の目標：

【知識及び技能】	【思考力、判断力、表現力等】	【学びに向かう力、人間性等】
個人及び社会生活における健康・安全について理解を深めるとともに、技能を身につけるようにする。	健康について、自他や社会の課題を発見し、合理的、計画的な解決に向けて思考し判断するとともに、目的や状況に応じて他者に伝えることができる。	生涯を通じて自他の健康の保持増進やそれぞれを支える環境づくりを目指し、明るく豊かで活力ある生活を営む態度を養うことができる。

	単元の具体的な指導目標	指導項目・内容	評価規準	知	思	態	配当 時数
1 学 期	・生涯の各段階において健康の保持増進や回復には、生涯の各段階の健康課題に応じた自己の健康管理及び環境づくりが関わっていることを理解できるようにする。	・ライフステージと健康 ・思春期と健康	思春期における心身の発達や性的低熟に伴う身体面、心理面、行動面などの変化に関わり、健康課題が生じることがあることを理解している。 自分の行動への責任感や異性を理解したり尊重したりする態度が必要なことを理解している。 習得した知識をもとに、心身の発達や性的成熟に伴う健康課題を解決するために生に関わる情報を適切に整理しようとしている。	○	○	○	2
		・妊娠・出産と健康 ・避妊法と人工妊娠中絶	受精や妊娠、出産とそれに伴う健康課題について理解している。 健康課題には、年齢や生活習慣が関わることを理解している。 家族計画の意義や人工妊娠中絶の心身への影響などについて理解している。 自分の行動への責任感や異性を理解したり尊重したりする態度が必要なことを理解している。 習得した知識をもとに、心身の発達や性的成熟に伴う健康課題を解決するために生に関わり情報を適切に整理しようとしている。	○	○	○	5
		・結婚生活と健康	生涯を通じる健康における事象や情報などについて、健康に書かれている原則や概念を基に整理したり、社会生活と関連付けたりして、自他や社会の課題を発見しようとしている。 習得した知識をもとに、結婚生活に伴う健康課題の解決や生活の質の向上に向けて、保健医療サービスの活用方法を適切に整理しようとしている。	○	○	○	4
	・定期考査			○	○	○	1
2 学 期	・生涯の各段階において健康についての課題があり、自らこれに適切に対応する必要があること及び我が国の保健・医療制度や機関を適切に活用することが重要であることについて理解できるようにする。	加齢と健康	・生涯を通じる健康の保持増進や回復には、生涯の各段階の健康課題に応じた自己の健康管理及び環境づくりが関わっていることを理解している。 ・生涯を通じる健康に関する情報から課題を発見し、健康に関する原則や概念に着目して解決の方法を思考し判断しているとともに、それらを表現している。 ・生涯を通じる健康についての学習に主体的に取り組もうとしている。	○	○	○	2
	・社会生活における健康の保持増進には、環境や食品、労働などが深くかかわっていることから、環境と健康、環境と食品の保健、労働と健康にかかわる活動や対策が重要であることについて理解できるようにする。	・労働災害と健康 ・健康的な職業生活	・労働災害の防止には、労働環境の変化に起因する傷害や職業病などを踏まえた適切な健康管理及び安全管理を必要であることを理解している。 ・生涯を通じる健康に関する情報から課題を発見し、健康に関する原則や概念に着目して解決の方法を思考し判断しているとともに、それらを表現している。 ・生涯を通じる健康についての学習に主体的に取り組もうとしている。	○	○	○	3
	・人間の生活や産業活動は、自然環境を汚染し健康に影響を及ぼすこともあること。それらを防ぐには、汚染の防止及び改善の対策をとる必要があるということを理解できるように指導する。	・大気汚染と健康 ・水質汚濁、土壌汚染と健康	・人間の生活や産業活動は、自然環境を汚染し健康に影響を及ぼすことがあること。それらを防ぐには、汚染の防止及び改善の対策をとる必要があること。また、環境衛生活動は、学校や地域の環境を健康に適したものとすよう基準が設定され、それに基づき行われていることを理解している。	○	○	○	8
	・定期考査			○	○	○	1

3 学 期	・環境と食品の保健にかかわる健康被害の防止と健康の保持増進には、適切に情報を公開、活用するなど行政・生産者・製造者・消費者などが互いに関係を保ちながら、それぞれの役割を果たすことが重要であることについて理解できるように指導する。	・食品の安全性 ・食品衛生にかかわる活動	・食品の安全性を確保することは健康を保持増進する上で重要であること。また、食品衛生活動は、食品の安全性を確保するよう基準が設定され、それに基づき行われていることを理解している。 ・健康を支える環境づくりに関する情報から課題を発見し、健康に関する原則や概念に着目して解決の方法を思考し判断しているとともに、それらを表現している。 ・健康を支える環境づくりについての学習に主体的に取り組もうとしている。	○	○	○	4
	・生涯を通じて健康を保持増進するには、検診などを通して自己の健康上の課題を的確に把握し、地域の保健所、保健センター、病院や診療所などの医療機関及び保健・医療サービスなどを適切に活用していくことなどが必要であることを理解できるようにする。	・保健サービスとその活用 ・医療サービスとその活用 ・医薬品の制度とその活用	・生涯を通じて健康を保持増進するには、保健・医療制度や地域の保健所、保健センター、医療機関などを適切に活用することが必要であること。また、医薬品は、有効性や安全性が審査されており、販売には制限があること。疾病からの回復や悪化の防止には、医薬品を正しく使用することが有効であることを理解している。	○	○	○	4
	・定期考査			○	○	○	1
							合計
							35